資料１－１

令和３年度千葉市市民自治推進の実施状況（案）の概要

Ⅰ 策定・公表の趣旨

この「千葉市市民自治推進の実施状況」は、市民主体のまちづくりを推進するため、「千葉市市民自治によるまちづくり条例」第１７条及び第１８条に基づき、本市が実施した市民参加、協働及び市民の自立的な活動を推進するための取組みを毎年度まとめ、策定・公表するものです。

Ⅱ 概況

（１）「令和３年度市民自治推進のための実施計画（B）」との比較

令和３年度に実施した取組み数は、実施計画と比べ３９事業減少しました。

減少数が多かった区分は「共催」「事業協力」及び「市民と職員の意識向上と人材育成」ですが、これらはイベント事業、ボランティア事業、講座等が多くを占めることから、新型コロナウイルス感染症の影響が特に大きく、事業を中止せざるを得なかったものが多かったと考えられます。

また、実施できた取組みの中でも内容の変更を余儀なくされたものが多くありました。新型コロナウイルス感染症の影響に関する詳細は、次のページ「Ⅲ　新型コロナウイルス感染症の影響」の通りです。

（２）「令和２年度市民自治推進の実施状況（C）」との比較

令和３年度に実施した取組み数は、コロナ禍の影響を最も受けた令和２年度と比べ３２事業増加しました。特に「共催」「事業協力」の区分で実施事業数が増加しております。

これらは新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業を実施する工夫が進んだことによると考えられます。

なお、コロナ禍前の平成３０年度（３７０事業）との比較では３７事業の減少となっておりますが、コロナ禍が始まった令和元年度（３４３事業）との比較では同数となっており、新型コロナウイルス感染症対策の浸透とともに、徐々に回復傾向にあるものと考えられます。

区分	R3年度 状況(A)	R3年度 計画(B)	R2年度 状況(C)	計画比 (A)-(B)	前年比 (A)-(C)
1 市民参加の取組み	96	95	90	1	6
(1) パブリックコメント手続	18	15	23	3	▲ 5
(2) 公募委員を含む附属機関	29	28	27	1	2
(3) ワークショップ	6	7	5	▲ 1	1
(4) 意見交換会	23	26	18	▲ 3	5
(5) 意見募集	5	6	5	▲ 1	0
(6) アンケート調査	12	10	9	2	3
(7) その他の市民参加手続	3	3	3	0	0
2 協働の取組み	134	162	113	▲ 28	21
(1) 委託	18	22	19	▲ 4	▲ 1
(2) 共催	28	36	20	▲ 8	8
(3) 事業協力	83	99	69	▲ 16	14
(4) その他の協働の取組み	5	5	5	0	0
3 市民の自立的な活動を推進するための取組み	52	55	55	▲ 3	▲ 3
4 市民の意向の把握	8	8	4	0	4
5 市民と職員の意識向上と人材育成	53	62	49	▲ 9	4
合　　計	343	382	311	▲ 39	32

Ⅲ 新型コロナウイルス感染症の影響

令和３年度の市民自治推進の実施状況策定にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が本市の市民自治推進の取組みへ与えた影響を計るため、令和２年度に引き続き庁内各課に対して「『令和３年度市民自治推進のための実施計画』と比較して生じた変更」及び「コロナ禍における事業の実施にあたっての対応」を集計しました。

なお、参考までに令和２年度の影響を受けた事業数を〔　〕書きで併記しております。

■新型コロナの影響を受けた事業数

１３３事業／３９６事業中（約３４％）〔２０５事業／４０７事業（約５０％）〕

■主な影響

（１）未実施：５３事業〔８８事業〕

＜内訳…新型コロナの影響：３５事業〔６８事業〕、その他：１８事業＞

（２）実施時期、回数の変更：３９事業〔４５事業〕

・実施回数減：公民館文化祭（４４ページ）ほか２１事業
・緊急事態宣言期間の実施中止：長柄げんきキャンプ（４３ページ）ほか８事業
・実施時期の変更：障害者の明るいくらし促進事業（２４ページ）ほか６事業
・実施回数増：若葉区自主企画事業区民対話会（６１ページ）

（３）規模の変更（人数の削減、会場の変更など）：２５事業〔５１事業〕

・人数の削減：チバリアフリーアートプロジェクト（２７ページ）ほか２０事業
・会場の変更・分散：ブックスタート研修会（６６ページ）ほか３事業

（４）実施方法の変更（オンライン・書面開催の活用など）：３２事業〔５９事業〕

・オンライン開催の導入：幕張新都心まちづくり将来構想懇話会（１２ページ）ほか２３事業
・書面開催の導入：いずみグリーンビレッジ推進会議（１４ページ）ほか７事業

（５）実施内容の変更（開催プログラムの変更、代替事業の実施など）：２８事業〔３２事業〕

・プログラム変更：訪日外国人旅行者向け観光ボランティアガイド養成事業（６８ページ）ほか１３事業
・事業の一部を中止：市民の日関連事業（３２ページ）ほか１０事業
・代替事業の実施：千葉市を美しくする運動推進事業（３３ページ）ほか２事業

Ⅳ　コロナ禍における特色ある取組み

※【　】内は「令和３年度千葉市市民自治推進の実施状況」におけるページ数及び事業№

（１）基本計画策定に係るシンポジウム【１２ページ　No.３】

本市の中長期的な市政運営の基本方針となる基本計画の策定に向け、そのＰＲや意識啓発のため、本市の将来のまちづくりをテーマに市長と有識者によるパネルディスカッションを実施した。

＜取組み＞インターネット上に仮想空間を構築し、YouTubeLive 等、オンラインで開催した。

（２）都市計画道路磯辺茂呂町線（園生町地区）みちづくり協議会【１５ページ　No.２０】

都市計画道路 磯辺茂呂町線（園生町地区）に関わる道路の整備について、情報の共有化を図るとともに、より良いみちづくりを目指すために地域との意見交換を行った。

＜取組み＞会場を３か所に分け、zoom によるオンライン開催とした。

（３）町内自治会への行政事務委託【２２ページ　No.１】

行政情報等の回覧・配布等を効果的に行うため、地域住民間での情報伝達手段を持つ町内自治会に委託する事業。

＜取組み＞庁内各課に対して、所管から町内自治会に発送する回覧物の鑑文から回覧情報が掲載されている千葉市ホームページを閲覧できるように、二次元コード入りの鑑文を作成するよう周知した。

（４）食育のつどい【３３ページ　No.１１】

多くの市民が食育に関心を持つようにするため、千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会の協力により、パネル展を開催した。

＜取組み＞５か所の巡回パネル展に変更することで、同時に集まる人数を減らした。

（５）若葉区自主企画事業　区民対話会【６１ページ　No.５】

市政・区政に関する情報を発信するとともに、区民の意見や提案などを施策に反映していくため、区長が直接区民と対話を行った。

＜取組み＞コロナ禍で例年開催されるイベントが中止となるなど、地域住民の意見を聴く機会が減少したため、積極的に実施した。

（６）国際交流ボランティア育成【６２ページ　No.１】

本市の国際化の推進及び東京 2020 大会（2020 年東京オリンピック・パラリンピック）に向けて、増加が見込まれる海外からの訪問者の受入体制を整備した。

＜取組み＞オンライン通訳活動を想定し、オンライン通訳時のルール周知や課題共有を目的とした講座を実施した。